

大阪・関西万博を契機とした全国への誘客促進

①実施概要

大阪・関西万博が開催される2025年に向けてインバウンドの本格的な回復と全国への誘客を図るため、特別な体験の提供など観光回復の起爆剤となる取組等を集中的に実施する。また、多様な主体と連携し、観光資源の磨き上げやコンテンツの充実、DX推進を図り、地域のブランド化に繋げ、質の高い魅力的な観光周遊ルートの構築とともに、効果的な情報発信等により、関西地域さらには日本全国への誘客を促進する。

(実施主体) 関係府省庁、博覧会協会、DMO、
地方自治体、日本政府観光局等を想定

(実施場所) 会場内外(全国各地域)

(実施期間) 開催前から期間中



②今後の実施方針

博覧会協会やDMO(観光地域づくり法人)等と連携し、広域周遊を含むモデルコース・特別な体験の創出や観光コンテンツの充実化等を集中的に実施するとともに、日本政府観光局等と連携し、海外への訪日プロモーションを推進する。

③予算

令和4年度補正予算額: 214百万円の内数(内閣官房)

https://www.cas.go.jp/jp/yosan/pdf/r4_hosei_gaiyou.pdf

: 25,714百万円の内数(観光庁)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001573247.pdf> (P3.4)

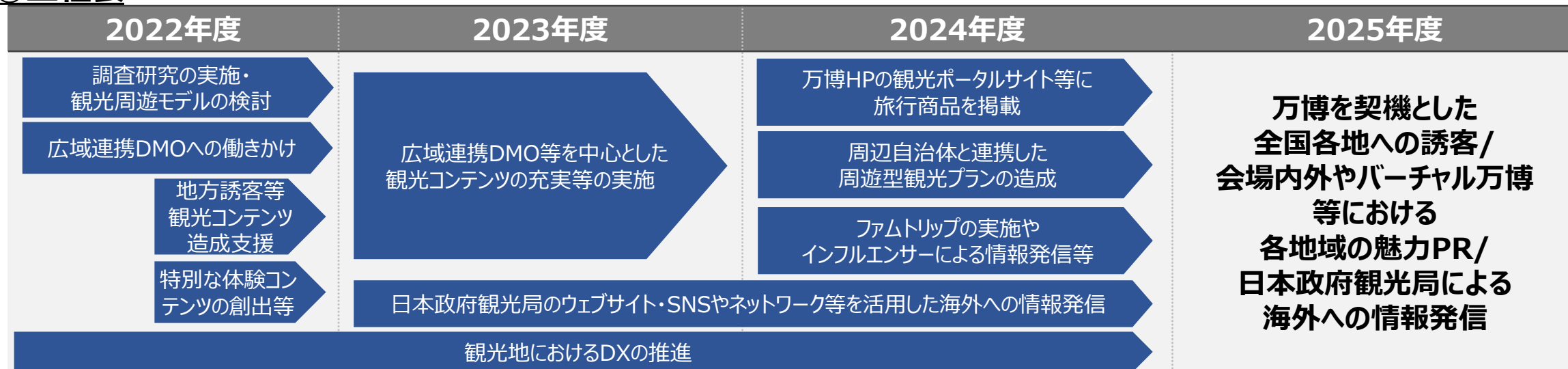
令和5年度概算決定額: 126百万円の内数(内閣官房)

https://www.cas.go.jp/jp/yosan/pdf/r5_yosan_an.pdf

: 1,763百万円及び12,356百万円の内数(観光庁)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001579953.pdf> (P5、17、22)

④工程表



日本の国立公園の魅力発信（国立公園満喫プロジェクト）

①実施概要

大阪・関西万博を機に、日本の傑出した自然景観を有する国立公園における美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光やサステナブルツーリズムを発信。

- 国立公園への訪日外国人の誘客と万博の誘客効果の地方への波及を促進し、地域の活性化につなげる。

（実施主体）環境省、国立公園オフィシャルパートナー企業等

（実施場所）会場内外

（実施期間）開催前後期間



②今後の実施方針

- ・本格的なインバウンド復活を見据え、プロモーション戦略に基づき、各国立公園のストーリーを踏まえたプロモーションを実施。
- ・ATWS2023北海道を契機としたアドベンチャートラベル層向けのコンテンツの強化。

③予算

令和4年度当初予算額：130億円の内数

<https://www.env.go.jp/content/900470784.pdf>

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	国立公園の海外プロモーション JNTOサイト内の国立公園情報サイトの運営 SNS、各種メディア、旅行博等による情報発信		国立公園への 訪日外国人の誘客 万博効果の地方への波及
		万博開催に合わせた訪日外国人向け プロモーションの検討・強化	

未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の情報発信

①実施概要

東日本大震災という逆境をばねに未来に向けて力強く立ち上がる被災地の情報発信を行うため、被災地の復興状況や食の取組の効果的な展示・催事や、会場と被災地を繋ぐツアーを実施する。また、震災の影響で失われた食や伝統が、熱意のある人によって再興している姿を発信するとともに、多くの来場者に被災地の食を知ってもらい、食べてもらい、持って帰ってもらう（会場内外での提供）ことを検討する。



②今後の実施方針

2023年度は、展示・催事の設計に向けたコンテンツの企画や設計、試作等を実施。合わせて、万博本番での誘客に向けた福島へのプレツアーを実施。

③予算

令和5年度「大阪・関西万博」を契機とした復興に向けた情報発信強化事業

令和5年度概算決定額：32百万円

令和5年度 地域の魅力等発信基盤整備事業

令和5年度概算決定額：239百万円の内数

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/fu/fukko_09.pdf

（実施主体）復興庁、経産省、関係省庁、地元自治体、地元企業、被災地参入企業

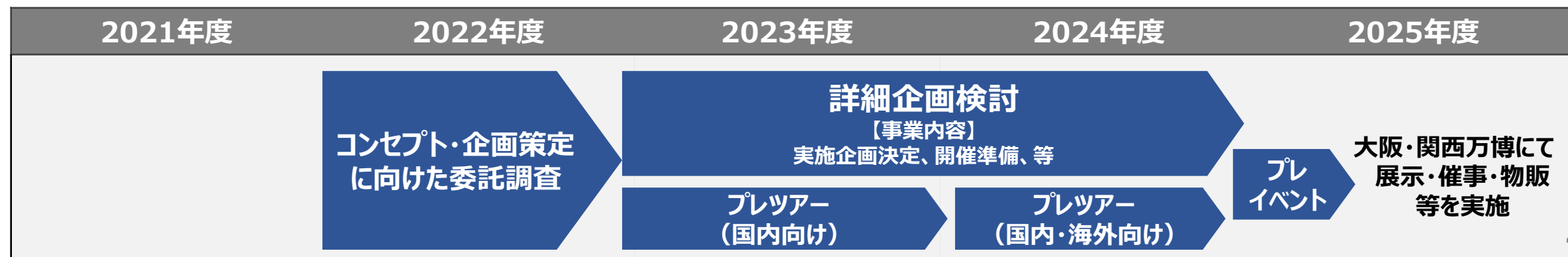
（実施場所）

会場内：催事会場（メッセ、大催事場、小催事場、ギャラリー）、フューチャーライフパーク、営業施設

会場外：被災地域へのツアー、大阪府内や首都圏等でのシンポジウム等

（実施期間）開催期間前 2023年度～開催期間中

④工程表



日本食文化・農泊体験・ジビエの発信

連絡先 農林水産省 新事業・食品産業部 外食・食文化課食文化室 03-6744-2012
 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課農泊推進室 03-3502-0030
 鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 03-6744-2196

①実施概要

会場内外での日本食の体験、VR等を活用したバーチャルトリップ、万博近郊等の農山漁村におけるリアル農泊体験、ジビエの試食や野生鳥獣の利活用の取組の展示などを通じて、多様な地域の食やそれを支える農林水産業、伝統文化を発信することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、農林水産物・食品の輸出につなげる好循環を構築する。

- (実施主体) 日本食文化・農泊・ジビエ等の官民実施主体
- (実施場所) 会場内（メッセ, FLE（フューチャーライフ体験）,小催事場等）
会場外（展示場,屋外広場等）
- (実施期間) 開催期間中（期間中の1週間程度、状況により複数回）



食文化体験・農泊の推進・ジビエの情報発信 <https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>

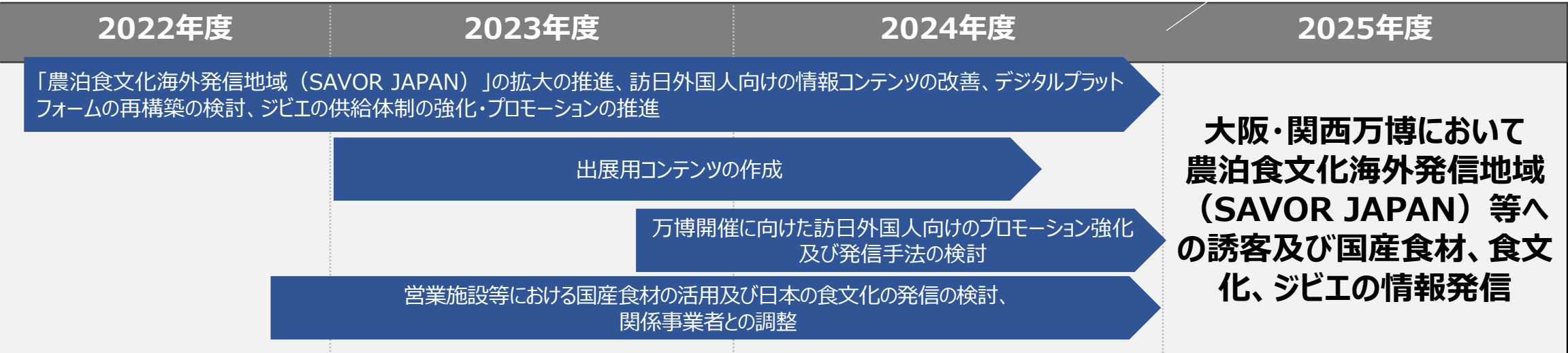
②今後の実施方針

- ・出展コンセプトの確定
- ・展示内容の企画・検討及び関係事業者に向けた機運醸成
- ・既存事業を活用し、出展に使用可能な動画等の作成
- ・営業施設等における国産食材の活用及び食文化発信の検討

③予算

令和5年度概算決定額：80百万円
 マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業のうち訪日外国人対応による輸出促進連携支援事業
 令和5年度概算決定額：9,070百万円の内数
 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち
 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）
 令和5年度概算決定額：9,603百万円の内数
 鳥獣被害防止総合対策交付金

④工程表



日本の食文化の発信

①実施概要

会場内外において、郷土料理等の日本の食文化を代表する料理に触れる機会の提供、日本の食文化の魅力を伝える映像の発信等により、日本の食文化の保護・継承に取り組む地域への国内外からの往来を活性化し、これらの地域の活性化を促進するとともに、日本の食文化の振興を図る。

（実施主体）食文化の保護・継承に取り組む民間団体等

（実施場所）会場内：検討中

会場外：食文化の保護・継承に取り組む各地域等

（実施期間）全会期中、一部期間、開催前後期間等



②今後の実施方針

大阪・関西万博に向けて、工程表に沿って実施。

③予算

令和5年度概算決定額：192百万円の内数

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/93811701_01.pdf

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
文化財保護法に基づく文化財への登録等による食文化の明確化・価値化			大阪・関西万博を 基点とした 日本の食文化の発信
食文化の価値への気づきの機会の提供・食文化の保護・継承活動の機運醸成			
国内外の往来を活性化するための食にまつわる観光コンテンツの造成			

日本産酒類の情報発信

①実施概要

国際的プロモーション等による日本産酒類の情報発信、酒蔵ツーリズムの取組の支援、万博の会場内又は会場外での国際ビジネス交流等を推進することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、日本産酒類の輸出につなげる好循環を構築する。（あわせて、日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産への登録を実現する。）

（実施主体）酒類事業者等

（実施場所）会場内又は会場外及び酒蔵ツーリズム等を実施する
日本各地域

（実施期間）全会期中（一部の期間を含む）



②今後の実施方針

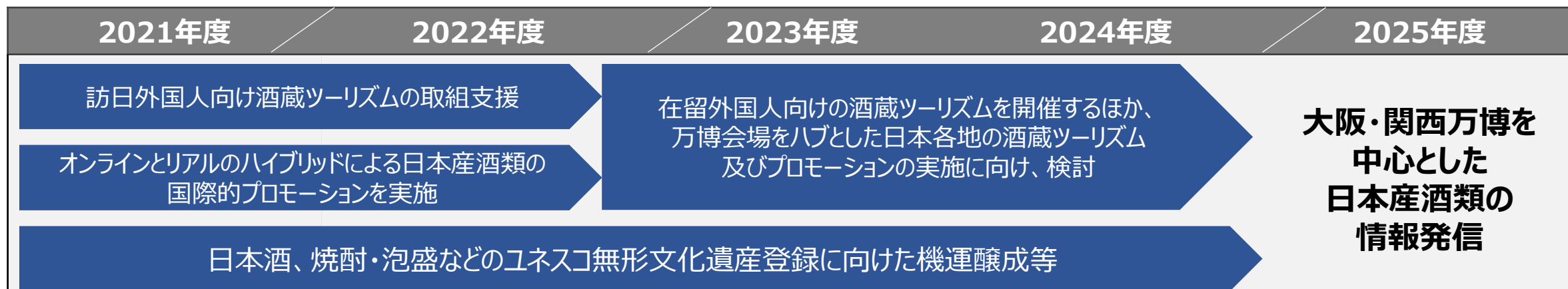
2023年以降、在留外国人向けの酒蔵ツーリズムを開催し、日本産酒類や酒蔵の魅力を発信

③予算

令和5年度概算決定額：161百万円の内数
（酒類業振興事業のうち、日本産酒類の情報発信）

<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/pdf/0022012-036.pdf>

> 工程表



「日本博2.0」の展開

①実施概要

大阪・関西万博に向けて、縄文時代から現代まで続く我が国の文化芸術を「日本の美と心」をテーマに国内外へ発信し、多様な主体の参画と対話により、世界の多様性の尊重、普遍性の共有、社会課題の解決、経済社会の新しい成長、平和への祈りへとつなげる。

＜「日本博2.0」の5つのコンセプト＞

1. 【最高峰の文化の祭典】 伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アートなどから厳選、国内外へ発信
2. 【地域の魅力を総動員】 「広がり」と「奥行き」を持った真に満足できる観光、地域のファン作り
3. 【最先端のバーチャル体験】 メタバース、NFT等の先端技術を活用した、ボーダレスで新しい鑑賞・体験
4. 【若い力で未来を拓く】 未来を生きる若者が参加、障害者芸術・多文化共生の推進
5. 【ソフトパワーで日本の心を発信】 海外アーティスト、文化施設等と連携して協調・交流の促進

（実施主体）文化施設、民間事業者、非営利団体等

（実施場所）全国各地（2025年度は、上記の取組の一部を会場内で実施予定）

（実施期間）2024年度～

②今後の実施方針

・引き続き、「日本博2.0」の取組を全国各地で実施予定

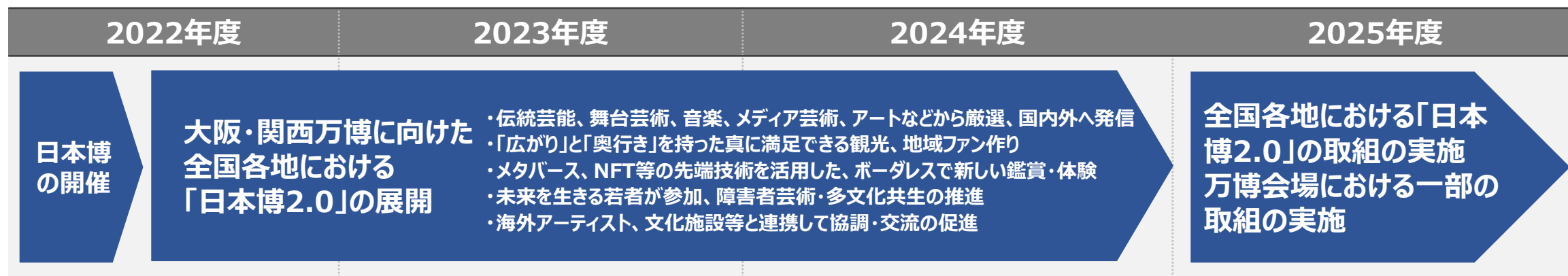
・2023年度以降の取組内容を踏まえ、2025年度に会場で実施する取組の内容について検討

③予算

令和5年度概算決定額：2,456百万円の内数

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001579953.pdf>

④工程表



クールジャパンの総力を結集した機運の醸成

①実施概要

地域における万博への機運を高めるため、クールジャパン関係者の総力を結集させて地域の魅力を磨き上げ、特に外国人目線を取り入れたプロモーションを実施する。バーチャル万博や万博アプリ等も活用することで、訪日を計画する多くの外国人の目に留まるようにし、訪日喚起、全国各地への誘引、滞在期間の長期化を図るとともに、地域独特の魅力への共感、日本ファンの増加につなげる。

（実施主体）民間事業者、地方公共団体等

（実施場所）会場外（各地域）、バーチャル万博

（実施期間）開催期間前から期間中

②今後の実施方針

・異業種との連携や、クールジャパン関係者による情報発信等を行い、地域における魅力の磨き上げや発信力の強化、万博への機運醸成を図る。また、クールジャパンと関連性の高い他省庁の取組との共創を検討する。

③予算

令和5年度概算決定額：69百万円

https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r05/gaiyou_r5.pdf

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
優良事例の発掘・展開、コンテストの実施等による地域の機運醸成、発信力強化			日本の魅力を 世界に向けて発信 新たな文化の創造を 次世代に継承・発展
クールジャパン戦略の推進に必要な調査・分析等			
他省庁の取組との連携			

日本の工芸品・和楽器の対外発信

①実施概要

万博を契機とした日本の工芸品・和楽器の対外発信を推進するため、伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示や、ライフスタイルの変化を踏まえた新たな工芸品と異分野連携、海外からの来訪者に向けた和装や和楽器によるイベント等を実施する。

伝統的工芸品の展示・製作実演・製作体験

<企画案>

- 会場での製作実演をライブ配信
- オンライン工房見学
- オンライン製作体験指導
- 事前に工房を動画で撮影し、VRで工房見学
- 伝統柄の投影、小舞台を活用したショーとのコラボレーション
- 新素材や最新の技術を活用して作成された工芸品の展示

(実施主体) 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、一般社団法人全国邦楽器組合連合会

(実施場所) 会場内（メッセ、日本伝統文化エリア等）

(実施期間) 一部期間

和楽器の演奏・製作実演・演奏体験

<企画案>

- 演奏家による和楽器演奏
- 和楽器ワークショップ（和楽器作り実演）
- 演奏家指導による演奏体験

②今後の実施方針

▼2023年度取組

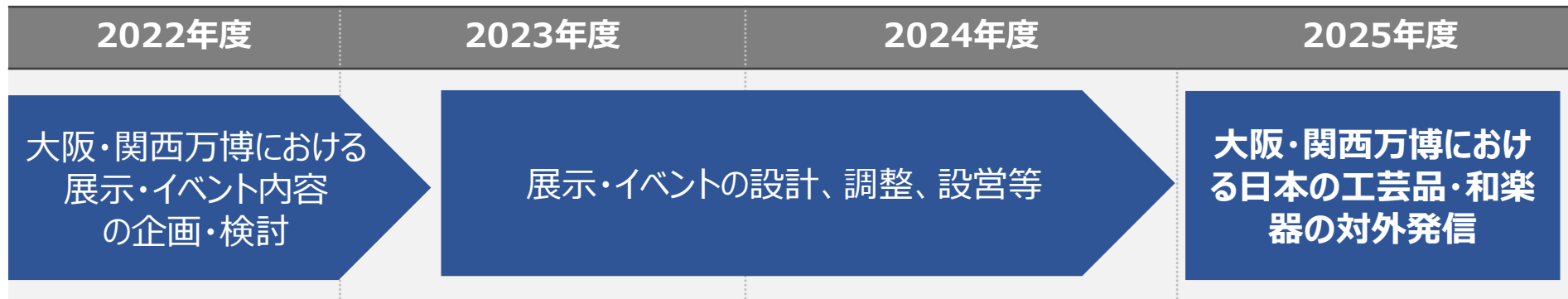
- ・展示・イベントの設計、調整、設営等

③予算

—



④工程表



Web3.0時代における日本のアニメ等のコンテンツ対外発信

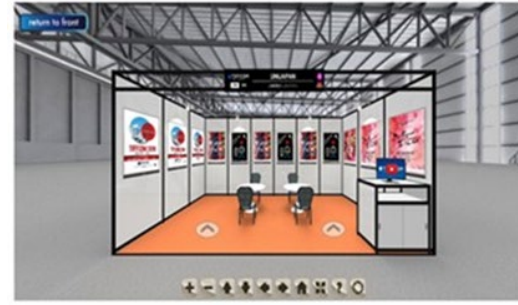
①実施概要

- ・日本のアニメを始めとする魅力あるコンテンツについて、Web3.0やメタバースなどの最新技術を活用して海外に発信するため、コンテンツを紹介する展示ブースの設置や催事の実施。(映像見本市(TIFFCOM)事業との連携を検討)
- ・連携を予定するTIFFCOMにおいて分散型自立組織(DAO)を活用したコンテンツ企画募集を実施し、2025年のバーチャル万博で発表を想定。
- ・展示ブースには、Web3.0時代における新たなエンタメの在り方として、DAOを活用した優秀作品の展示スペースを設置。

(実施主体) 公益財団法人ユニジャパン

(実施場所) 検討中 (リアル及びバーチャル会場)

(実施期間) 一部期間 (実施期間も検討中)



(※) TIFFCOM2020におけるバーチャルブースの様子

②今後の実施方針

- ・DAOを活用したコンテンツ企画募集の立案 (TIFFCOMとの連携を想定)
- ・出展ブース募集に係る関係企業や団体との調整及びヒアリング
- ・バーチャル万博の会場環境の確認及び会場のレイアウトの検討

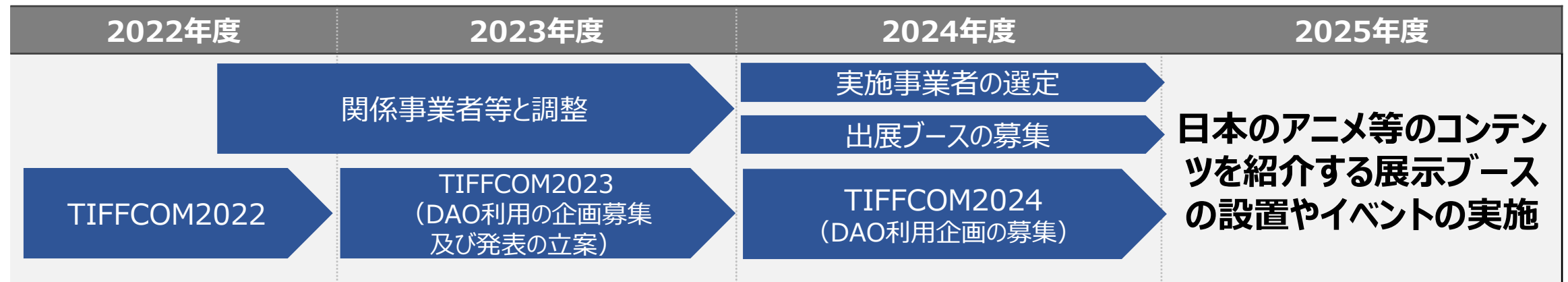
③予算

コンテンツ海外展開促進事業

令和5年度概算決定額：1,095百万円の内数

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/ip/shojo_08.pdf

④工程表



映像・芸術文化が形作る被災地の魅力ある 未来社会に向けた発信

①実施概要

福島県の被災地において、「芸術文化」を活用し、未来に向けて魅力あるまちづくりを目指す中で、「福島浜通り映像・芸術文化プロジェクト」を通じて、滞在制作によって生まれた作品を大阪・関西万博の場で上映・展示等をする。各会場において、映像・映画の上映、現代アートの展示、演劇の公演などを実施し、多くの来場者に幅広い「芸術文化」に触れてもらい、新たな「魅力ある福島」を発信する。



（実施主体）経済産業省、内閣府、福島浜通り映像・芸術文化若手チーム

（実施場所）会場内（メッセ、屋外広場など）

（実施期間）一部期間

②今後の実施方針

・本年8月に福島県双葉町において「シネマイイベント」を、10月には東京国際映画祭にてトークセッションを実施した。今後も、映像・芸術文化を通じた上映会やシンポジウム等を開催し、大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成を図る。

・映像や美術などの様々な分野のアーティストに福島に滞在していただき、その中で制作された作品を大阪・関西万博の場で上映・展示等をするべく、着実に準備を進めていく。

・「魅力ある福島」を発信するため、地元関係者と連携しながら、大阪・関西万博に向けた調整を行う。

③予算

（原子力被災地域における映像・芸術文化支援事業）
令和5年度概算決定額：330百万円の内数

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/fu/fukko_13.pdf

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
双葉町でのシネマイ イベント	東京国際 映画祭でのイベント	映像・芸術文化を通じた上映会やシンポジウム等による機運醸成	大阪・関西万博において 映像・芸術作品の 上映・展示等
		滞在制作による作品準備	
		地元関係者との調整・連携	

アイヌ文化の対外発信

①実施概要

- ・万博を契機としたアイヌ文化の対外発信を推進するとともに民族共生象徴空間（ウポポイ）への誘客促進を図るため、伝統的なアイヌ舞踊を披露するイベントの実施や関連する工芸品等の展示の実施等を検討中。

（実施主体）文化庁、国交省、関係機関を想定

（実施場所）会場内外を想定

（実施期間）開催期間中の実施を想定



アイヌ民族の伝統舞踊（リムセ）



アットウシ（樹皮の反物）



アイヌ文様の工芸品

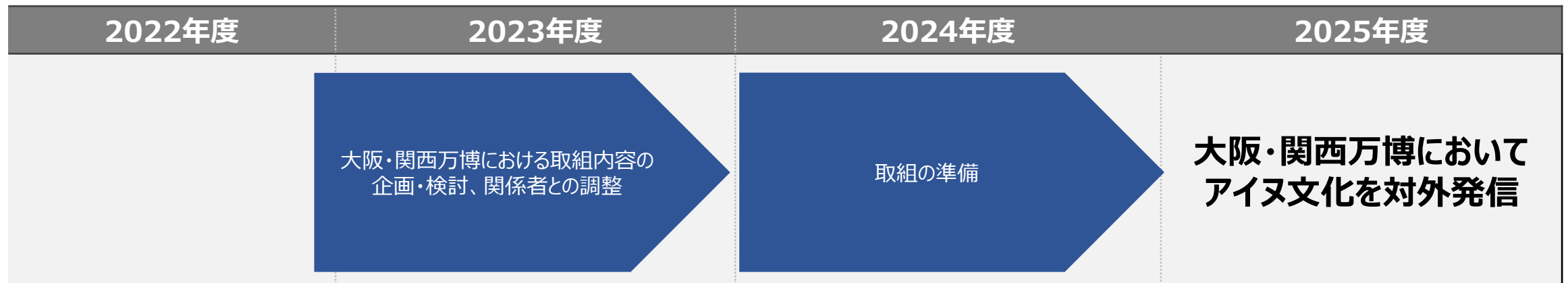
②今後の実施方針

- ・取組内容の企画・検討を行い、関係者との調整を進める

③予算

—

④工程表



スタジアム・アリーナ改革推進事業・スポーツ産業の国際展開促進事業

①実施概要（イメージ）

「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定されているスタジアム、もしくはアリーナとの連動企画。万博会場で、スタジアム・アリーナ改革やスポーツDXの優良事例、JSPIN※参画企業による取組紹介を実施する。

また、優良事例紹介では、万博会場近郊（関西圏）にあるスタジアム・アリーナ選定施設を中心に説明するとともに、今後各設置者等と調整し、対応が可能な施設は、当該施設の視察への誘導等に取り組む。

※日本のスポーツ産業の国際展開を支援するスポーツ庁のプラットフォーム（正式名称：Japan Sports Business Initiative）

（実施主体）会場内：スポーツ庁、会場外：自治体・指定管理者（今後調整）

（実施場所）会場内、会場外（各スタジアム・アリーナ、今後調整）

（実施期間）万博期間中の一部期間（スポットで実施）

②今後の実施方針

- ・万博に向けて、具体的な取組の検討状況の有無の確認、連携の可能性について意見交換
- ・JSPINの一環として、アジアや欧州で開催のスポーツビジネス展示会にジャパンプースを設置し、海外市場からのニーズを調査・確認

③予算

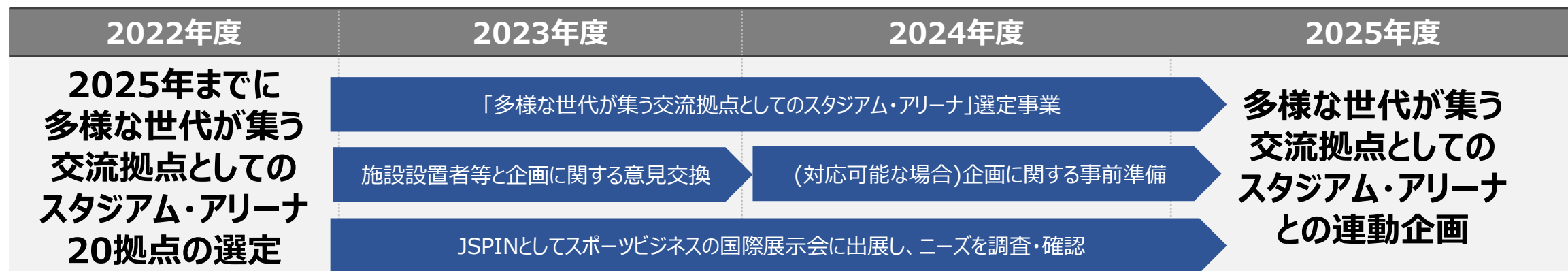
令和5年度概算決定額：

406百万円の内数（スタジアム・アリーナ改革推進事業）

43百万円（スポーツ産業の国際展開促進事業）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230120-spt_sseisaku01-000027027_1.pdf

④工程表



「Sport in Life」の推進と障害者スポーツの振興

①実施概要（イメージ）

スポーツが生涯を通じて生活の一部となることで、人生や社会が豊かになるという「Sport in Life」の姿を目指し、スポーツの動画を活用した普及啓発や、スポーツ庁が行う「Sport in Life推進プロジェクト」との連携イベントを実施する。

また、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の取組として、一般社団法人スポーツ・オブ・ハートが実施する、全国100kmノーマライズ駅伝及びパラスポーツ体験の開催に係る周知を行うなど、障害者スポーツの振興に資するイベントの検討や支援を行う。

（実施主体）スポーツ庁、民間企業（一般社団法人スポーツ・オブ・ハートのほか、今後調整）

（実施場所）会場内、会場外（動画や全国各地の駅伝会場等、今後調整）

（実施期間）万博開催前～期間中

②今後の実施方針

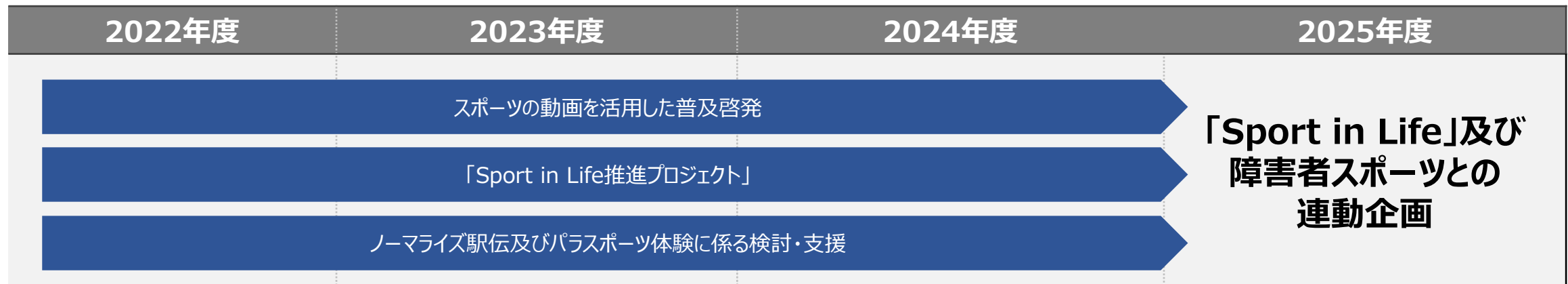
- ・万博に向けて、具体的な取組の検討と、民間企業等との連携の可能性について意見交換。
- ・一般社団法人スポーツ・オブ・ハートが実施する「スポーツ・オブ・ハートプロジェクト」を支援。

③予算

令和5年度概算決定額 288百万円（Sport in Life推進プロジェクト）
315百万円（障害者スポーツ推進プロジェクト）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230120-spt_sseisaku01-000027027_1.pdf

④工程表



大阪・関西万博への修学旅行等に係る情報発信について

①実施概要

修学旅行等の行程に大阪・関西万博を組み込んでもらいやすくなるように、都道府県や学校関係者に対し、情報発信を行う。

(実施主体) 文部科学省

(実施場所) －

(実施期間) 開催前から開催期間中

②今後の実施方針

- ・年度内に各都道府県教育委員会等へ通知を発出。
- ・各都道府県教育委員会担当者等に対し、説明会において周知。

③予算

－

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
通知を発出	説明会において大阪・関西万博を周知		
参考 (各学校の状況)	各学校において修学旅行等の行程等を検討・決定	各学校において修学旅行等の実施に向けた準備	各学校において修学旅行等の実施

2025年大阪・関西万博に関する教育プログラムの周知

①実施概要

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じてSDGsへの理解を深める小・中学生向け教育プログラム（博覧会協会作成）について、都道府県教育委員会等に対して周知を行う。

（実施主体） 内閣官房・文部科学省・経済産業省
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
（実施場所） —
（実施期間） 開催前～会期中



教育プログラム使用教材(小学校版、中学校版)

②今後の実施方針

・博覧会協会等と連携し、教育プログラムに関連する周知を行う。

③予算

—

④工程表

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
万博開催まで随時、各教育委員会等に対して周知を行う			
【2022年度参加校数】 (12月9日時点) 小学校61校、中学校57校	参加校において、教育プログラムを実施		

万博国際交流プログラム

連絡先 内閣官房国際博覧会推進本部事務局
03-3519-3615

①実施概要

大阪・関西万博に多くの国が参加することを契機に、全国各地域において、子ども・若者等の地域住民と万博参加国の関係者が地方公共団体の事業を通じ継続的に国際交流していく枠組みを設ける。

具体的には、万博の理念等への理解を深めるための事前学習を含め、地域の住民等と交流相手国の万博関係者や出身者等とが継続的に交流していくため地方公共団体が交流相手国と行っていく事業に対し、支援を行う。

※ 参加自治体は、交流計画の提出・国の審査を経て、登録・公表される。

[交流タイプの例]

- ・万博前～会期中に相互往来等により相手国の文化、伝統芸能等を習得して、相手国のナショナルデーのイベントを共同実施する。
- ・万博前後に相互往来等を行って相手国の歴史や文化を理解するとともに、万博開催中に来日した相手国の万博関係者を地元へ招いて、講演会や住民との交流イベント等を開催する。

(実施主体) 地方公共団体

(実施場所) 会場内（催事場などナショナルデーイベント会場等）

会場外（各地方公共団体や交流相手国に所在する講演会場・交流施設その他施設等）

(実施期間) 2024年度～



②今後の実施方針

交流に関するモデル事業を実施し、交流内容及び支援の仕組みの検討を進める。

③予算

令和4年度補正予算額：214百万円の内数

令和5年度概算決定額：126百万円の内数

④工程表

